

取扱説明書

MV-1600 リモートコントロールソフトウェア

マルチビューワ

Multi Viewer

Version 0.3 - Higher - Rev.1

目次

1. セットアップ	1
1-1. 概要	1
1-2. 動作環境	1
1-3. この取扱説明書について.....	1
1-4. ソフトウェアのインストール.....	2
1-4-1. Internet Explorer で動画転送機能を使用する場合.....	2
1-4-2. MV-1600 Live Viewer を使用する場合	2
1-4-3. Java2 Runtime Environment	3
1-4-4. Windows Installer 3.1.....	4
1-4-5. Microsoft .NET Framework 2.0	5
1-4-6. Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack.....	7
1-4-7. Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable.....	8
1-4-8. MV-1600LiveViewer.....	8
1-5. ソフトウェアのアンインストール.....	9
1-6. 接続	9
1-7. 通信規格	10
1-8. PC のネットワーク設定.....	10
2. Internet Explorer でのリモートコントロール	12
2-1. Internet Explorer の起動と接続	12
2-2. Internet Explorer の終了	13
2-3. コントロール画面.....	13
2-4. 映像出力の制御.....	14
2-5. 動画転送（VIEWER）	15
2-6. メニュー操作.....	17
2-6-1. MAIN MENU	17
2-6-2. TIME SETUP	18
2-6-3. ALARM/VIDEO LOSS	20
2-6-4. TITLE.....	21
2-6-5. DISPLAY	22
2-6-6. LAN.....	24
2-6-7. SYSTEM	26
3. MV-1600 Live Viewer を使用した動画転送	28
3-1. MV-1600 Live Viewer の起動と接続.....	28
3-2. MV-1600 Live Viewer の切断と終了.....	29
3-3. MV-1600 Live Viewer コントロール画面.....	30
3-4. MV-1600 Live Viewer-Viewer 画面.....	32
4. 故障かなと思ったときに	33

商標等について

Microsoft Windows ® 2000 および XP オペレーティングシステムは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

.NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium ®は米国 Intel Corporation.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java™ および Java のロゴはサン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

1. セットアップ

1-1. 概要

マルチビューワ MV-1600 はネットワーク接続することで PC からのリモートコントロール、および PC への動画転送が可能となります。リモートコントロールは Windows に付属している WEB ブラウザ Internet Explorer を使用するため、専用のソフトウェアをインストールする必要はありません。動画転送には、Internet Explorer を使用する方法と、専用ソフトウェア MV-1600 Live Viewer を使用する方法の 2 通りがあります。MV-1600 Live Viewer を使用する場合は、ソフトウェアをインストールする必要がありますが、Internet Explorer を使用する場合に比べて動画転送のフレームレートをあげることが可能です。

1-2. 動作環境

MV-1600 リモートコントロールソフトウェアは次の PC 環境で動作します。

対応 OS	Windows2000 Professional SP4 以降または WindowsXP SP2 以降 (Professional または Home Edition)
ソフトウェア	Internet Explorer6.0 以降
	.NET Framework2.0 (付属の CD-ROM に収録) *1
	Visual C++2005 (付属の CD-ROM に収録) *1
	Java2 Runtime Environment 5.0 (付属の CD-ROM に収録) *2
CPU	PentiumIV 3GHz 以上
メモリ	1GB 以上 (MULTICAST モード不使用ならば 512MB 以上)
ディスプレイ	解像度 1024×768 pixels 以上 (VGA 使用時) 1280×1024pixels 以上 (SXGA 使用時) フルカラー (24 ビット) 表示可能であること
LAN アダプタ	10BASE-T/100BASE-TX 対応 1 ポート以上
LAN ケーブル	エンハンスドカテゴリー5 以上

*1 : MV-1600 Live Viewer を使用しない場合は必要ありません。

*2 : Internet Explorer で動画転送機能 (Viewer) を使用しない場合は必要ありません。

1-3. この取扱説明書について

この取扱説明書では以下の表記法を使用しています

- □で囲った文字 (**MATT**)などはオペレーションパネルのボタンをあらわします。
- 網掛け文字 (**ON**)などはメニュー内の項目および設定値を表します。
- かぎカッコで囲んだ文字 ([SETUP]など)はメニューを表します。

1-4. ソフトウェアのインストール

1-4-1. Internet Explorer で動画転送機能を使用する場合

Internet Explorer で動画転送機能（Viewer）を使用する場合は Java2 Runtime Environment 5.0 が予めインストールされている必要があります。インストールの方法については「1-4-3. Java2 Runtime Environment」を参照してください。

注意

ソフトウェアのインストールは全て Administrator 権限のユーザで行ってください。一般ユーザでは正常にインストールできません。

また Java2 Runtime Environment 5.0 以外を使用すると、Viewer 画面が正しく動作しない場合があります。コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」（WindowsXP の場合は「プログラムの追加と削除」）を開いて、5.0 以降がインストールされている場合は、削除してください。

1-4-2. MV-1600 Live Viewer を使用する場合

MV-1600 Live Viewer を使用して動画転送を行う場合は、Microsoft から提供されている 4 つのソフトウェアと MV-1600 Live Viewer を、次の順番でインストールする必要があります。インストールの方法については「1-4-4. Windows Installer 3.1」から「1-4-8.. MV-1600LiveViewer」を参照してください。

- (1) Windows Installer 3.1
- (2) Microsoft .NET Framework 2.0
- (3) Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack
- (4) Microsoft Visual C++2005 Redistributable
- (5) MV-1600 Live Viewer

ただし、ご使用になっている PC によっては既にインストールされている場合もありますので、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」（WindowsXP の場合は「プログラムの追加と削除」）を開いて(1)～(4)のソフトウェアがインストールされているかどうかを確認してください。既にインストールされているソフトウェアのインストールは不要です。

注意

WindowsXP の場合、旧バージョンである「Microsoft .NET Framework 1.1」が最初からインストールされていますが、その場合でも「Microsoft .NET Framework 2.0」および「日本語 Language Pack」のインストールが必要です。

また、インストール中に PC を再起動する必要があるため、インストール開始前に起動している全てのアプリケーションを終了させてください。

注意

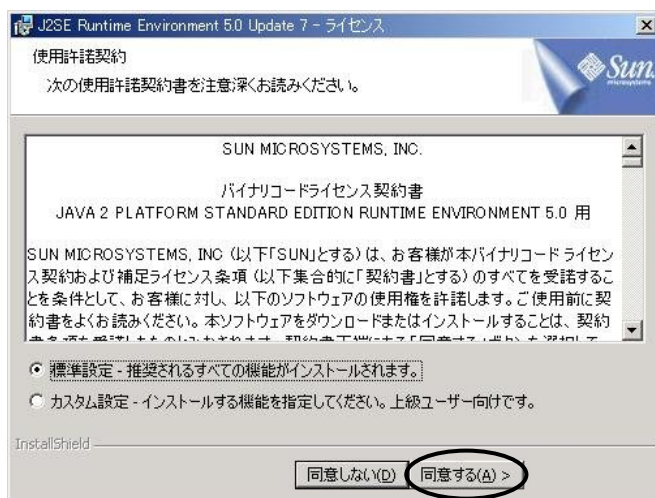
ソフトウェアのインストールは全て Administrator 権限のユーザで行ってください。一般ユーザでは正常にインストールできません。

1-4-3. Java2 Runtime Environment

- 1) 付属のインストール CD-ROM を PC にセットし、マイコンピュータ等から CD-ROM のドライブを開き、jre-1_5_0_07-windows-i586-p.exe を実行してインストールウィザードを起動します。



- 2) インストールウィザードが起動したら、使用許諾契約書が表示されますので「同意する」をクリックするとインストールが開始されます。



- 3) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されますので、完了 をクリックして PC を再起動してください。



1-4-4. Windows Installer 3.1

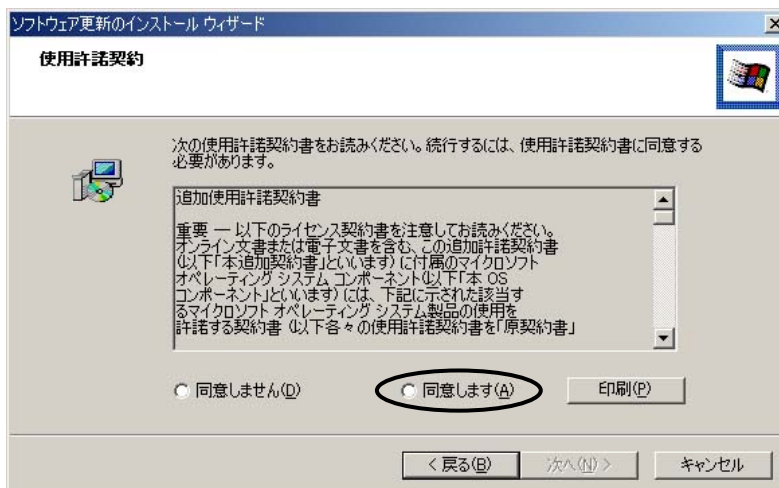
- 1) 付属のインストール CD-ROM を PC にセットし、マイコンピュータ等から CD-ROM のドライブを開き、WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe を実行してインストールウィザードを起動します。



- 2) インストールウィザードが起動したら、**次へ** をクリックします。



- 3) 使用許諾契約書が表示されますので、「同意します」のチェックをオンにしてから **次へ** をクリックするとインストールが開始されます。



- 4) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されますので、**完了** をクリックして PC を再起動してください。

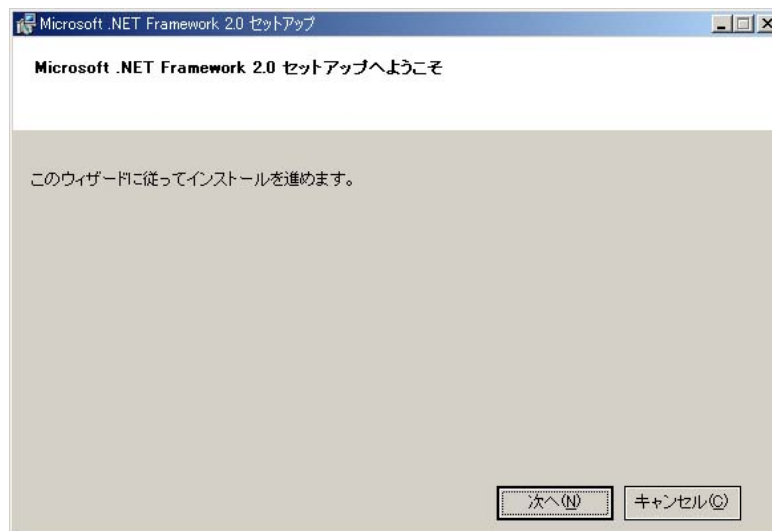


1-4-5. Microsoft .NET Framework 2.0

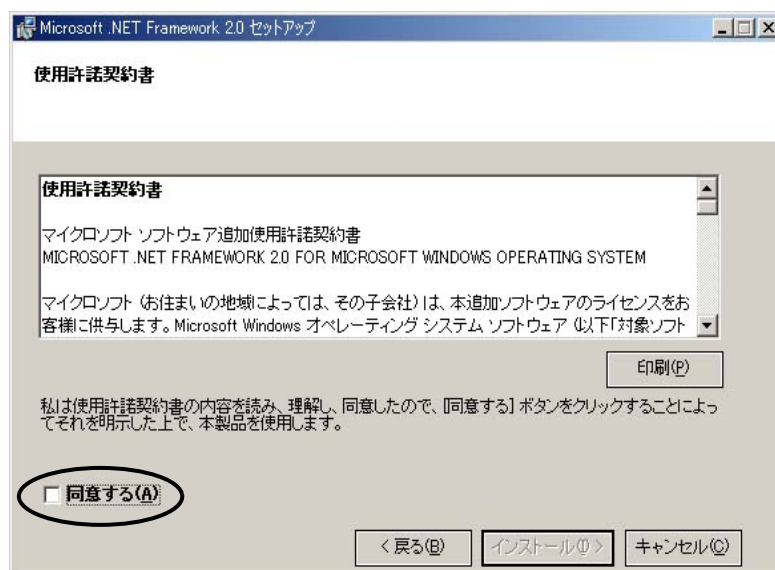
- 1) CD-ROM の dotnetfx.exe を実行してセットアップウィザードを起動します。



- 2) セットアップウィザードが起動したら、**次へ** をクリックします。



- 3) 使用許諾契約書が表示されますので、「同意する」のチェックをオンにしてから **インストール** をクリックするとインストールが開始されます。



- 4) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されますので、**完了** をクリックしてください。

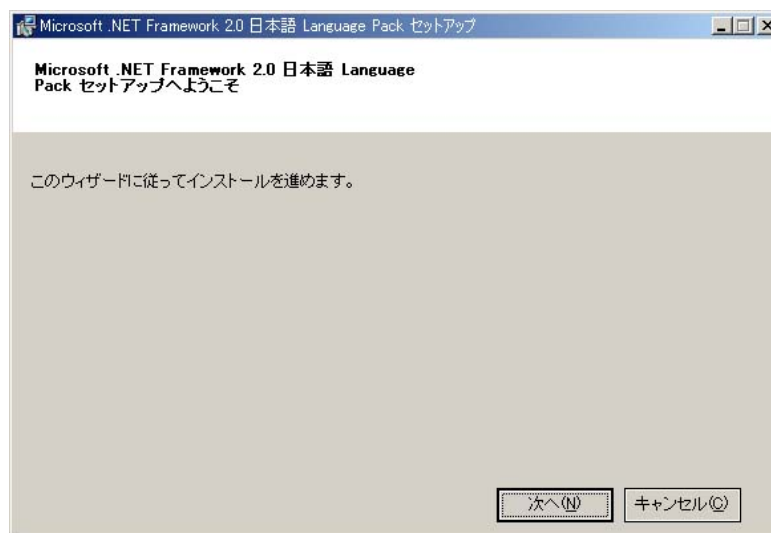


1-4-6. Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack

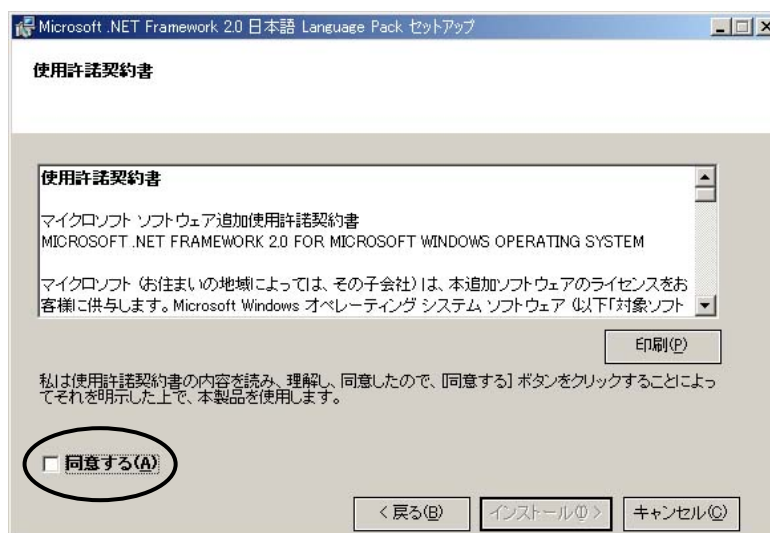
- 1) CD-ROM の langpack.exe を実行してセットアップウィザードを起動します。



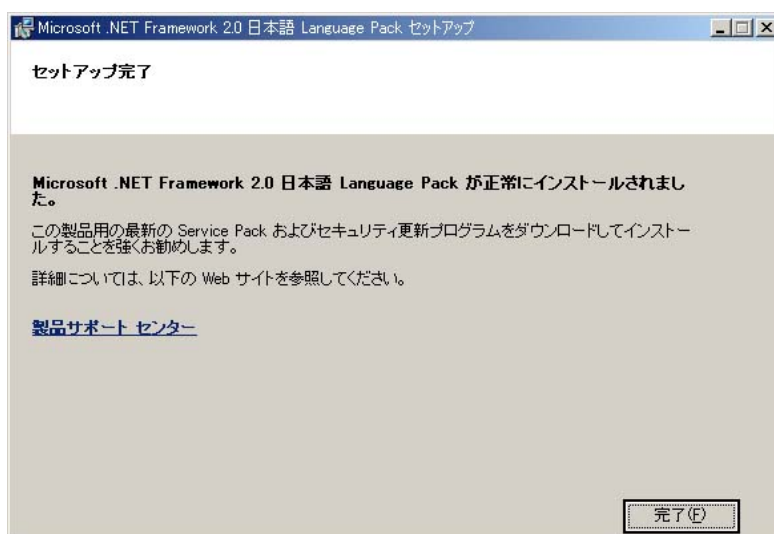
- 2) セットアップウィザードが起動したら、**次へ** をクリックします。



- 3) 使用許諾契約書が表示されますので、「同意する」のチェックをオンにしてから **インストール** をクリックするとインストールが開始されます。



- 4) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されますので、**完了** をクリックしてください。

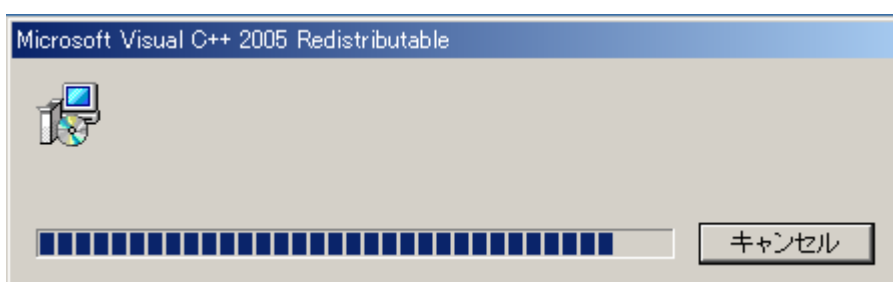


1-4-7. Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable

- 1) CD-ROM の vcredist_x86.exe を実行します。



- 2) vcredist_x86.exe を実行後、次の画面が表示され、メータがいっぱいになったら、インストール完了です。



1-4-8. MV-1600LiveViewer

任意のフォルダを作成して、CD-ROM の MV1600LiveViewer.exe をコピーしてください。

1-5. ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアをアンインストールする場合は CD-ROM からコピーした MV1600LiveViewer.exe を削除してください。

「Windows Installer 3.1」「Microsoft .NET Framework 2.0」「Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack」「Microsoft Visual C++2005 Redistributable」はアンインストールする必要はありません。

1-6. 接続

MV-1600 を LAN インターフェースで制御する場合、接続方法によって使用するケーブルや機材が異なりますのでご注意ください。PC と MV-1600 を直結する場合はクロス LAN ケーブルで接続します。ルータやハブを介して接続する場合は基本的にストレート LAN ケーブルを使用します。



詳細は、別紙 MV-1600 取扱説明書、「7. LAN インターフェース」を参照してください。

注意 UNICAST モードの場合、MV-1600 1 台に対して接続可能な PC は 1 台のみです。

1-7. 通信規格

通信規格は次の通りです。

プロトコル	TCP/IP プロトコル
IP アドレス	設定範囲：0.0.0.0 ～255.255.255.255 ただし、PC 側で設定可能な IP アドレスは次のように制限されているため、この範囲内で本体の IP アドレスを設定してください。 192 . 168 . 0 . 1 第 1 オクテット 第 2 オクテット 第 3 オクテット 第 4 オクテット 第 1 オクテット：1 ～ 223（ただし、127 は除く） 第 2 オクテット：0 ～ 255 第 3 オクテット：0 ～ 255 第 4 オクテット：1 ～ 254 ※本体 MENU 画面にて設定 ※初期化時設定は、「192.168.0.1」
サブネットマスク長	設定範囲：0～31 ※本体 MENU 画面にて設定 ※初期化時設定は、24
ゲートウェイ	設定範囲：0.0.0.0 ～255.255.255.255 ※本体 MENU 画面にて設定 ※「0.0.0.0」はゲートウェイが設定されていないことを意味します。 ※初期化時設定は、「0.0.0.0」
マックアドレス	工場出荷時に設定済み（変更不可） ※内容は本体 MENU 画面にて確認可能です。

注意

MV-1600 本体の LAN 通信規格の内容は、PC からは変更できません。

別紙、MV-1600 取扱説明書「5-6.LAN (LAN 設定)」を参照し、MV-1600 本体から変更して下さい。

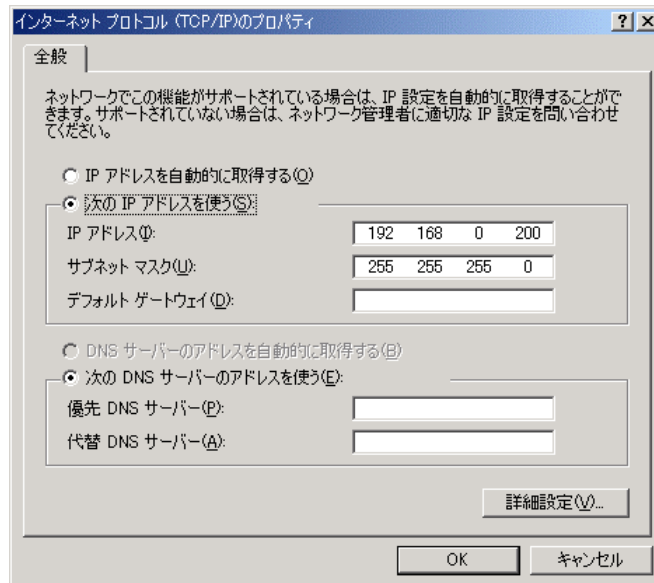
1-8. PC のネットワーク設定

PC のネットワーク設定を、接続する MV-1600 のネットワーク設定に合わせる必要があります。PC のネットワーク設定方法は OS によって異なりますので、詳しくは OS のマニュアルを参照して下さい。ここでは、工場出荷時設定の MV-1600 に接続する際の設定例を示します。MV-1600 の出荷時設定は次の通りです。

IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク長	24
ゲートウェイ	0.0.0.0

1) Windows2000 の場合

タスクバーの [スタート] メニューから [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] を開き、「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。全般の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、内容を下記の例のように設定します。なお、IP アドレスを元に戻す必要がある場合は、現在の設定をメモに残しておいてください。



PC の IP アドレス	192.168.0.yyy (yyy は MV-1600 本体に設定した番号、およびゲートウェイの番号を除く 2～254 の任意の値です。この例では yyy=200 に設定しています。)
サブネットマスク	255.255.255.0 に設定します。

2) WindowsXP で [スタート] メニュー設定を変更していない場合

タスクバーの [スタート] メニューからコントロールパネルを開き「ネットワーク接続」をダブルクリックします。「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。全般の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、1)と同様に設定します。

3) WindowsXP で [スタート] メニュー設定をクラシック[スタート]メニューに変更している場合

タスクバーの [スタート] メニューから [設定] → [ネットワーク接続] を開き、「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。全般の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、1)と同様に設定します。

設定が終わったら **OK** をクリックして、すべてのウィンドウ (インターネットプロトコル、ローカルエリア接続のプロパティ) を閉じます。

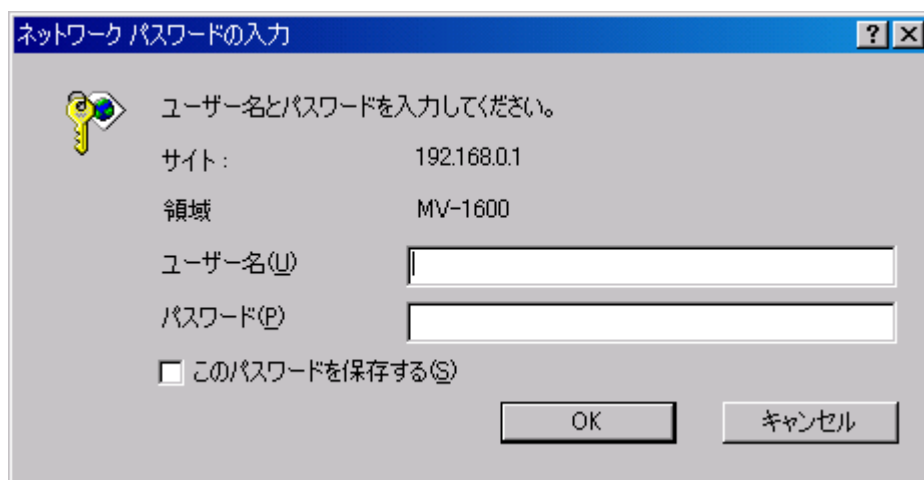
2. Internet Explorer でのリモートコントロール

2-1. Internet Explorer の起動と接続

タスクバーの [スタート] から [プログラム] (WindowsXP の場合は [すべてのプログラム]) を開き「Internet Explorer」を選択して起動してください。

- 1) ブラウザのアドレス欄に MV-1600 の「LAN」メニューで設定した IP アドレスを入力して、**Enter** キーを押します。ID が設定されている場合は、通信が確立されると次の認証画面が表示されます。

※ID が設定されていない場合は、通信が確立されるとコントロール画面が表示されます。



- 2) ユーザー名とパスワードを入力して **OK** ボタンをクリックします。ユーザー名、パスワードが一致するとコントロール画面が表示されます。



注意

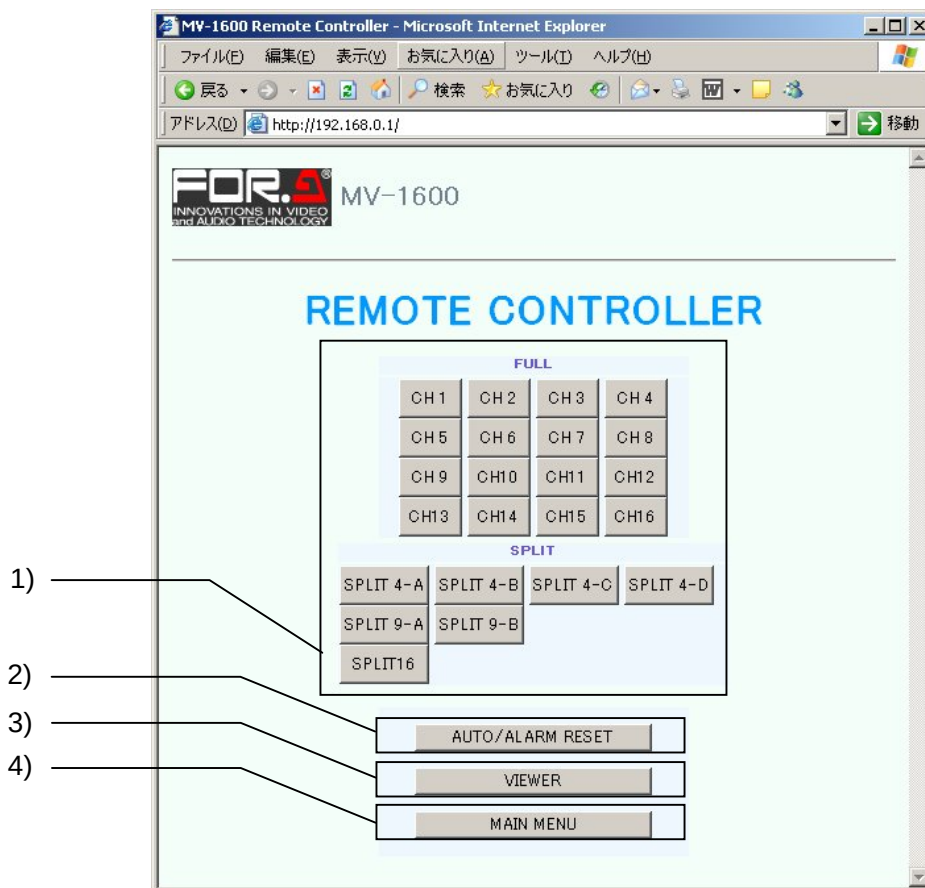
MV-1600 と接続中に MV-1600 本体の電源を入れなおした場合は、動作が不安定になることがあります。MV-1600 本体の電源を入れなおした場合は、再度 Internet Explorer を立ち上げなおしてください。

2-2. Internet Explorer の終了

Internet Explorer のウィンドウ右上の[×]をクリックしてください。

2-3. コントロール画面

通信が確立すると次の画面が表示されます。



1) 出力画面の制御

動画転送、SXGA 出力、VIDEO 出力 1,2 の出力画面の操作を行います。

2) AUTO / ALARM RESET

1 画面表示、4 分割、9 分割表示の自動切換えを開始します。

また、アラーム動作中にはアラームをリセットします。但し、外部アラームのリセットはアラーム入力モードが「TRIG」設定時のみ有効です。

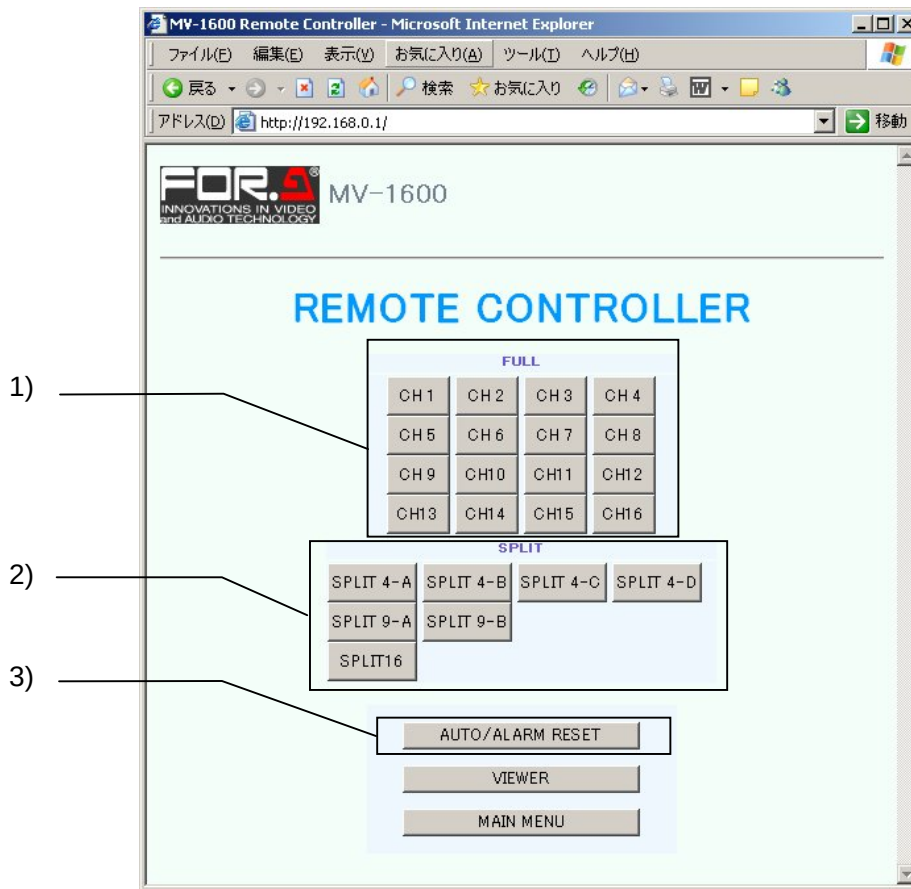
3) VIEWER

ライブビューワ画面を表示します。

4) MAIN MENU

メインメニュー画面を表示します。

2-4. 映像出力の制御



1) CH1～CH16

SXGA 出力、VIDEO 出力 1、2、動画転送に、選択した 1 画面を表示します。

注意 SXGA 出力と VIDEO 出力および LAN の動画転送画面は同じチャンネルを表示します。

2) SPLIT

SXGA 出力、VIDEO 出力 1、2、動画転送の画面に、選択した分割画面を表示します。

注意 SPLIT4 (A～D)、SPLIT16 を選択した場合、SXGA 出力と VIDEO 出力および LAN の動画転送画面は同じチャンネルを表示しますが、9 分割画面を選択した場合、SXGA 出力からは 9 分割表示、VIDEO 出力および LAN の動画転送画面は 16 分割表示となります。

3) AUTO / ALARM RESET

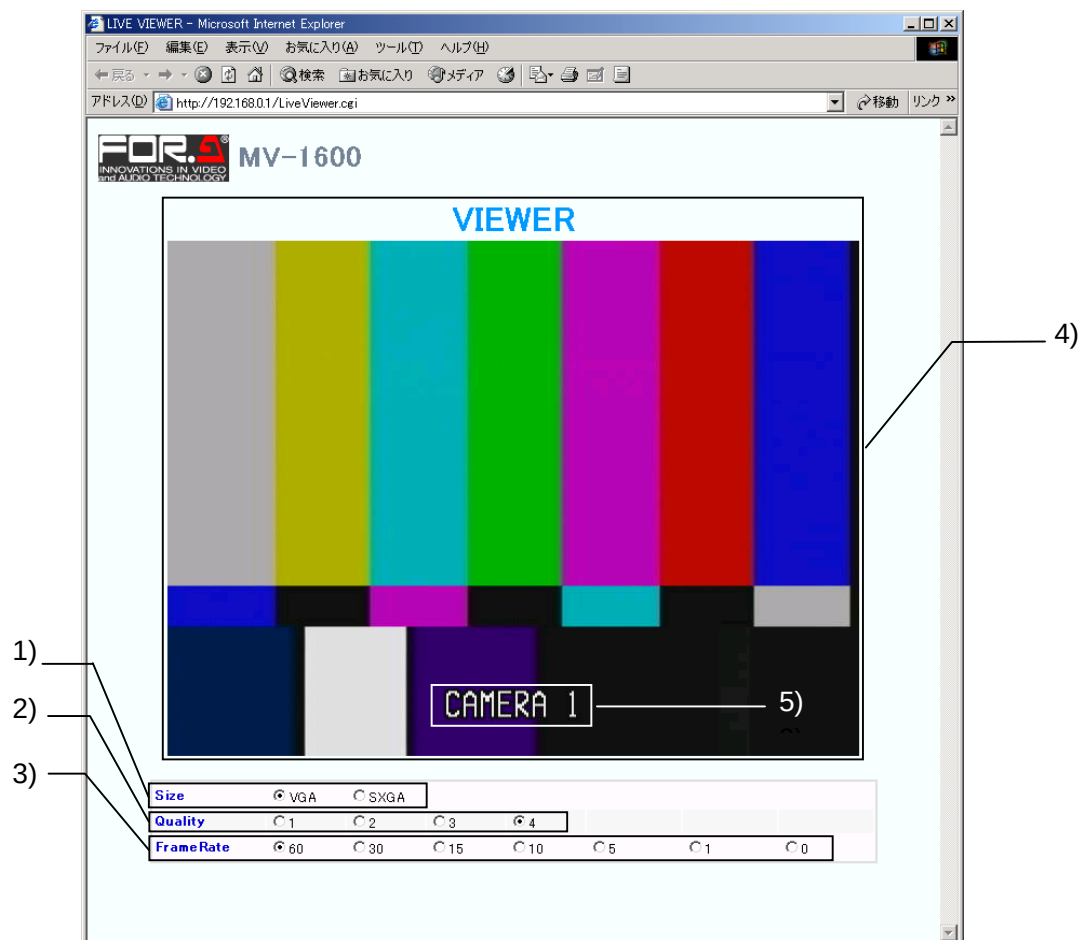
1 画面表示、4 分割表示、9 分割表示の自動切換えを開始します。



詳細は、別紙 MV-1600 取扱説明書、「4-3. 1 画面を表示する」、「4-4. 分割画面を表示する」、「4-6. 自動切換え表示」を参照してください。

2-5. 動画転送 (VIEWER)

VIEWER ボタンをクリックすると以下のような VIEWER 画面が表示されます。



1) SIZE

動画転送する JPEG 画像のサイズを VGA (640×480pixels)、SXGA (1280×960pixels) から選択します。SXGA を選択した場合、転送するデータ量が多くなるため、VGA と比べてフレームレートが遅くなります。

2) QUALITY

動画転送する JPEG 画像の圧縮率を 1～4 で選択します。数字の大きい方が高画質となります。

3) FRAME RATE

動画転送のフレームレートを設定します。

NTSC の場合は 0FPS、1FPS、5FPS、10FPS、15FPS、30FPS、60FPS から選択可能です。

PAL の場合は 0FPS、1FPS、4FPS、8FPS、12FPS、25FPS、50FPS から選択可能です。

0FPS を選択した場合は動画転送を停止します。動画転送中にコントロール画面の動作が遅くなる場合は、0FPS を選択して動画転送を一旦停止してください。

注意

転送する画像、JPEG 圧縮率、接続する PC、ネットワークの環境等により設定したフレームレートを満たさない場合があります。そのような場合は JPEG 圧縮率を変更して転送するデータ量を少なくするか、専用ソフトウェア MV-1600 Live Viewer を使用してください。

設定したフレームレートを満たさない場合、画像が上下に揺れて見える場合があります。そのような場合は、フレームレートを小さく設定してください。

4) VIEWER 画面

MV-1600 から転送された画像を表示します。

注意

動画転送機能は [SYSTEM]→FUNCTION に関係なく使用できます。詳しくは MV-1600 取扱説明書「5-7. SYSTEM (システム設定)」を参照してください。

VIEWER 画面のカメラタイトルが正常に表示されない場合はブラウザのメニューで「表示」→「エンコード」→「日本語 (シフト JIS)」に設定してください。

VIEWER 画面を開いたまま、本体 MENU 画面や RS-232C/LAN コマンド、Internet Explorer で、カメラタイトル、動画転送チャンネル、JPEG 画像の圧縮率、フレームレートを変更した場合、VIEWER 画面上の表示は正しく更新されません。また、VIEWER 画面に本体 MENU 画面を表示する場合は、CH1 のフル画面表示に変更してください。

5) TITLE

現在表示している映像のタイトルを表示します。

注意

[DISPLAY]→TITLE(SXGA)が OFF に設定されている場合、タイトルは表示されません。詳しくは「2-6-5. DISPLAY」を参照してください。

6) ALARM/LOSS

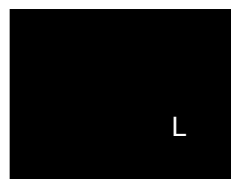
アラーム入力チャンネルには「A」の文字を表示します。

ビデオロスチャンネルは黒画面となり、「L」の文字を表示します。

＜アラーム CH の表示＞



＜ビデオロス CH の表示＞



外部アラームおよびビデオロスを検知した場合、2 種類のアラーム画面表示モードを選択することが出来ます。詳しくは、別紙 MV-1600 取扱説明書、「4-7. アラームおよびビデオロス画面表示」を参照してください。

注意

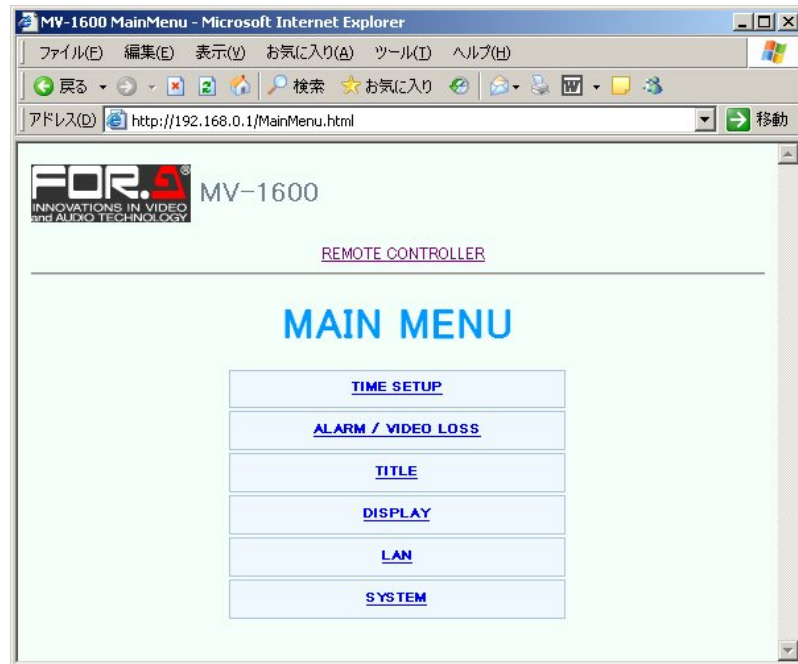
[DISPLAY]→MARK(SXGA)が OFF に設定されている場合、「A」、「L」の文字は表示されません。詳しくは「2-6-5. DISPLAY」を参照してください。

2-6. メニュー操作

2-6-1. MAIN MENU

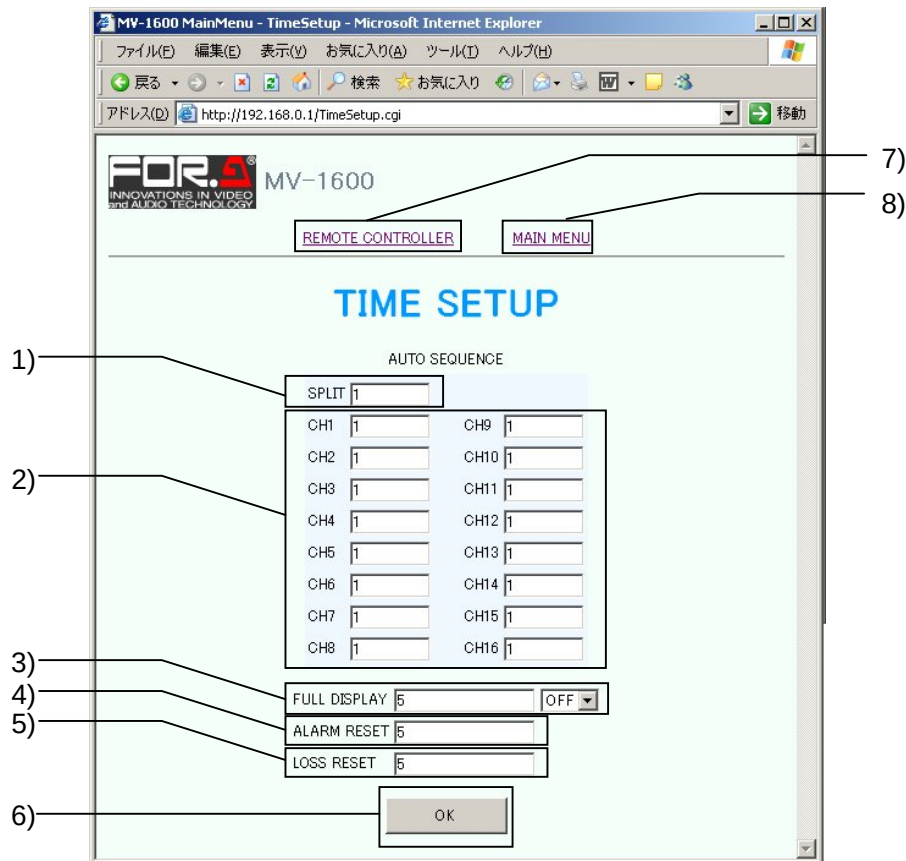
リモートコントロール画面で MAIN MENU をクリックすると次のような MAIN MENU 画面が表示されます。

各サブメニューをクリックするとサブメニュー画面を表示します。



2-6-2. TIME SETUP

MAIN MENU で [TIME SETUP] をクリックすると次のような TIME SETUP 画面を表示します。



1) AUTO SEQUENCE (SPLIT)

4 分割画面、9 分割画面自動切換え動作の画面切換え時間を設定します。
1 秒から 30 秒の範囲で設定可能です。

2) AUTO SEQUENCE (FULL)

1 画面自動切換え動作の画面切換え時間を設定します。
0 秒から 30 秒の範囲で設定可能です。なお 0 秒に設定されたチャンネルは、自動切換え時にスキップされます。

3) FULL DISPLAY

1 画面表示状態から分割画面に自動的に切換る時間を設定します。
1 秒から 60 秒の範囲で設定可能です。OFF に設定した場合は自動復帰動作を行いません。

4) ALARM RESET

アラーム入力モードが **TRIG** に設定されている場合のアラームリセット時間を設定します。
1 秒から 60 秒の範囲で設定可能です。

5) LOSS RESET

ビデオロスのリセット時間を設定します。
1 秒から 60 秒の範囲で設定可能です。

6) OK ボタン

TIME SETUP 設定の登録に使用します。

7) REMOTE CONTROLLER

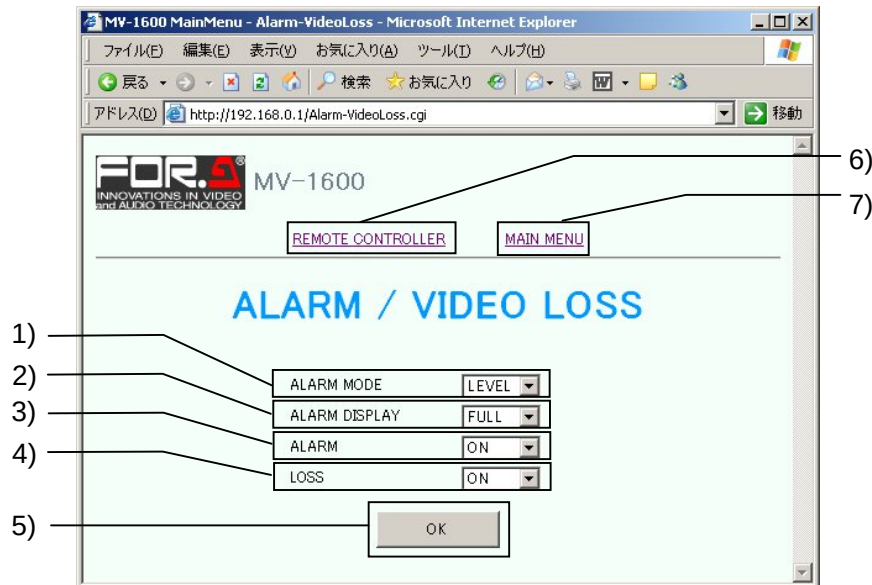
コントロール画面に戻ります。

8) MAIN MENU

MAIN MENU 画面に戻ります。

2-6-3. ALARM/VIDEO LOSS

MAIN MENU で [ALARM/VIDEO LOSS] をクリックすると次のような ALARM/VIDEO LOSS 画面を表示します。



1) ALARM MODE

アラーム入力モードを TRIG、LEVEL から選択します。

TRIG： 外部アラーム入力をトリガーで判断します。アラーム入力信号が HIGH から LOW になったときにアラーム状態になります。[ALARM RESET]で設定した時間でアラームが解除されます。

LEVEL： 外部アラーム入力をレベルで判断します。アラーム入力信号が LOW 期間、アラーム状態となります。

2) ALARM DISPLAY

外部アラームまたはビデオロスを検出した場合のアラーム表示モードを FULL、SPLIT から選択します。

FULL： アラームを検出したチャンネルを 1 画面表示します。

SPLIT： アラームを検出した場合、全てのチャンネルを 16 分割画面で表示します。

3) ALARM

外部アラームを検出した場合、アラーム表示動作の有効(ON)/無効(OFF)を設定します。

4) LOSS

ビデオロスを検出した場合、アラーム表示動作の有効(ON)/無効(OFF)を設定します。

5) OK ボタン

ALARM/VIDEO LOSS 設定の登録に使用します。

6) REMOTE CONTROLLER

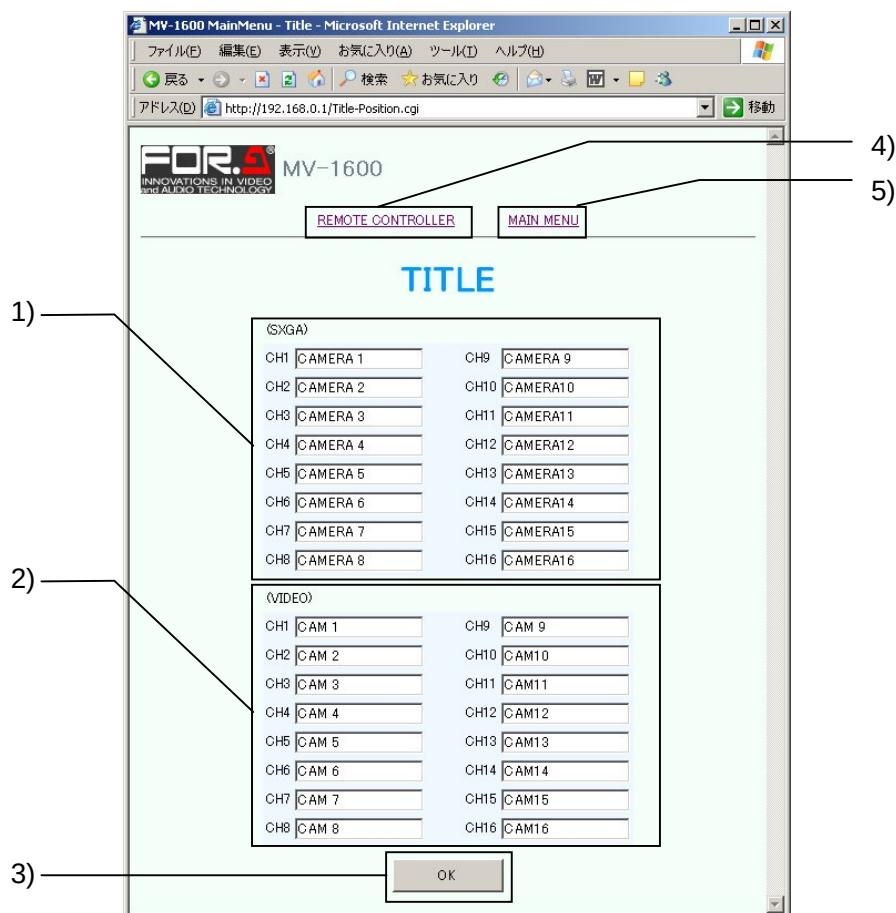
コントロール画面に戻ります。

7) MAIN MENU

MAIN MENU 画面に戻ります。

2-6-4. TITLE

MAIN MENU で [TITLE] をクリックすると次のような TITLE 画面を表示します。



1) CH1~CH16 (SXGA)

動画転送画面および SXGA 出力のカメラタイトルをチャンネル毎に 8 文字まで設定できます。



設定可能な文字については、別紙 MV-1600 取扱説明書、「5-4-1. TITLE SET (SXGA・VIDEO)」を参照してください。

2) CH1~CH16 (VIDEO)

VIDEO 出力のカメラタイトルをチャンネル毎に 6 文字まで設定できます。



設定可能な文字については、別紙 MV-1600 取扱説明書、「5-4-1. TITLE SET (SXGA・VIDEO)」を参照してください。

3) OK ボタン

TITLE 設定の登録に使用します。

4) REMOTE CONTROLLER

コントロール画面に戻ります。

5) MAIN MENU

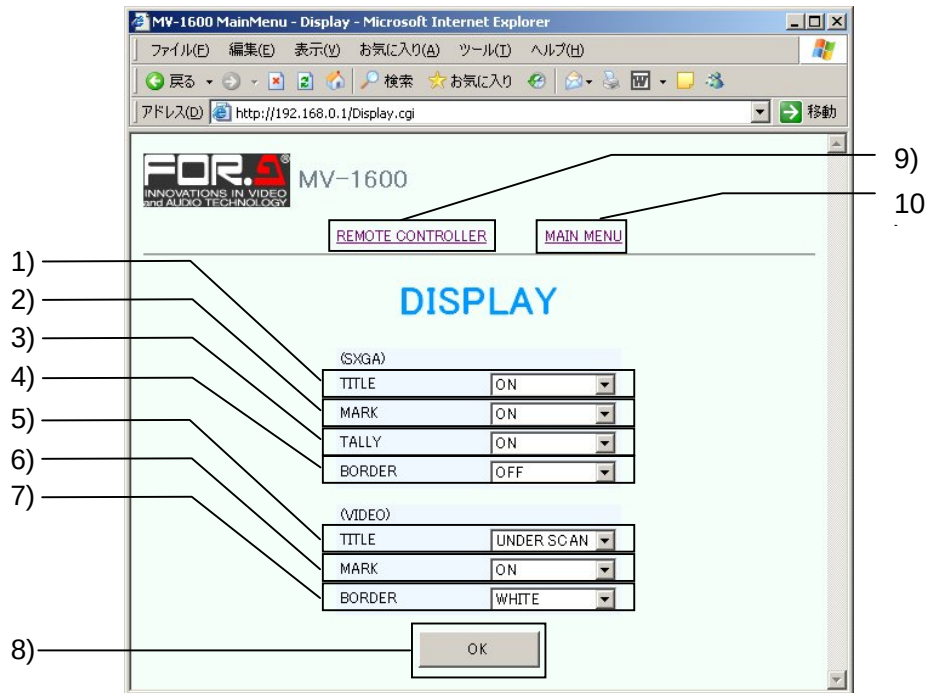
MAIN MENU 画面に戻ります。

注意

タイトルが正常に表示されない場合はブラウザのメニューで「表示」→「エンコード」→「日本語 (シフト JIS)」に設定してください。

2-6-5. DISPLAY

MAIN MENU で [DISPLAY] をクリックすると次のような DISPLAY 画面を表示します。



1) TITLE (SXGA)

動画転送画面および SXGA 出力のカメラタイトル表示(ON)/非表示(OFF)を設定します。

2) MARK (SXGA)

動画転送画面および SXGA 出力のアラームおよびビデオロスチャネルに「A」文字および「L」文字の表示(ON)/非表示(OFF)を設定します。

3) TALLY (SXGA)

SXGA 出力のアラームおよびビデオロスチャネルのタリー枠表示(ON)/非表示(OFF)を設定します。

4) BORDER (SXGA)

SXGA 出力のボーダーを WHITE、BLACK、OFF から選択します。

5) TITLE (VIDEO)

VIDEO 出力のカメラタイトル表示モードを設定します。

UNDER SCAN : UNDER SCAN 機能がついているモニターで使用する場合に適します。

OVER SCAN : 通常の民生モニターを使用する場合に適します。

OFF : 非表示

6) MARK (VIDEO)

VIDEO 出力のアラームおよびビデオロスチャネルに「A」文字および「L」文字の表示(ON)/非表示(OFF)を設定します。

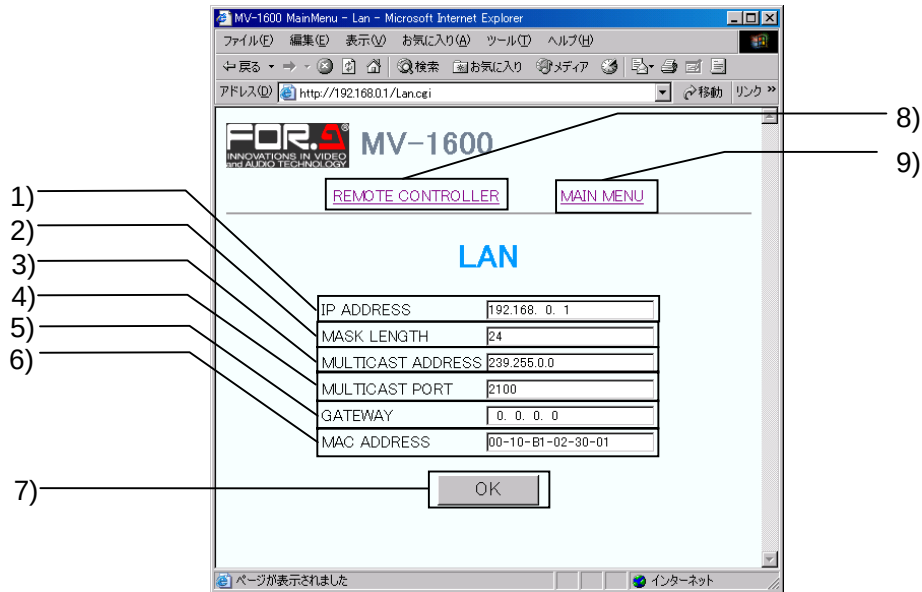
7) BORDER (VIDEO)

VIDEO 出力のボーダーを WHITE、BLACK、OFF から選択します。

- 8) **OK ボタン**
DISPLAY 設定の登録に使用します。
- 9) **REMOTE CONTROLLER**
コントロール画面に戻ります。
- 10) **MAIN MENU**
MAIN MENU 画面に戻ります。

2-6-6. LAN

MAIN MENU で [LAN] をクリックすると次のような LAN 画面を表示します。



1) IP ADDRESS

MV-1600 の IP ADDRESS の設定を表示します。

2) MASK LENGTH

MV-1600 のサブネットマスク長の設定を表示します。

3) MULTICAST ADDRESS

MV-1600 をマルチキャストモードで動作させる場合に使用するマルチキャストアドレスを設定します。

「224.0.1.0」～「239.255.255.255」の範囲で設定可能です。
※ユニキャストモードの場合は、設定する必要はありません。

4) MULTICAST PORT

MV-1600 をマルチキャストモードで動作させる場合に使用するマルチキャストポートを設定します。

「1024」～「65535」の範囲で設定可能です。
※ユニキャストモードの場合は、設定する必要はありません。

5) GATEWAY

MV-1600 のゲートウェイの設定を表示します。

6) MAC ADDRESS

MV-1600 のマックアドレスの設定を表示します。

7) OK ボタン

LAN 設定の登録に使用します。

8) REMOTE CONTROLLER

コントロール画面に戻ります。

9) MAIN MENU

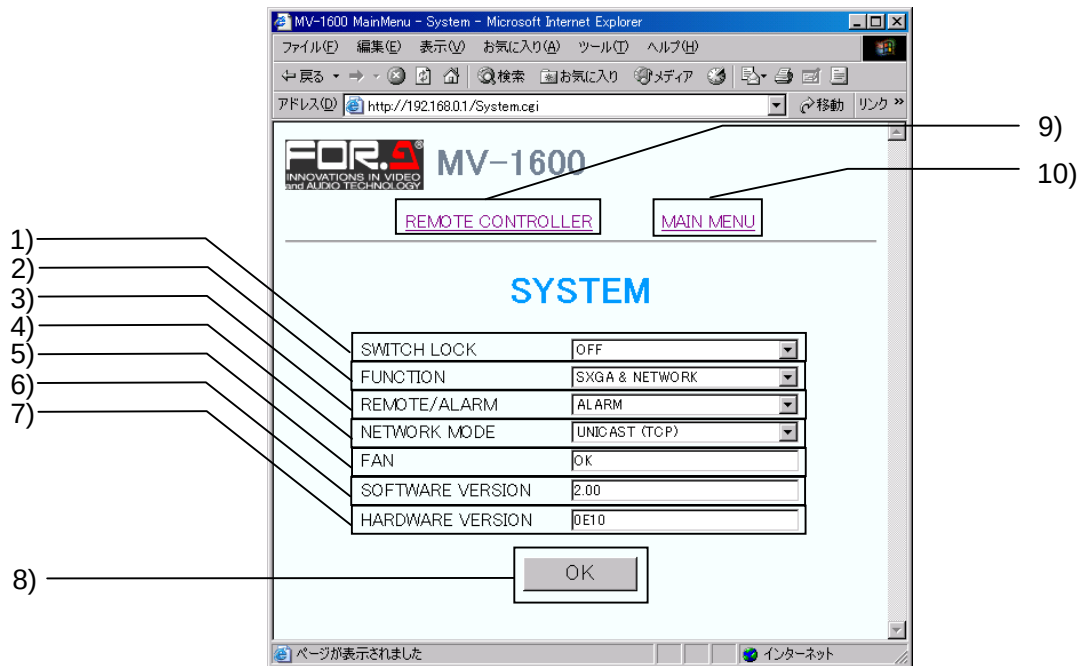
MAIN MENU 画面に戻ります。



MULTICAST ADDRESS および MULTICAST PORT 以外の設定は本体 MENU 画面でのみ可能です。詳細は別紙 MV-1600 取扱説明書、「5-6. LAN (LAN 設定)」を参照してください。

2-6-7. SYSTEM

MAIN MENU で [SYSTEM] をクリックすると次のような SYSTEM 画面を表示します。



1) SWITCH LOCK

前面ボタンの操作 LOCK 機能を設定します。

OFF : 操作 LOCK を行いません。全てのボタンが操作可能となります。

ON : 操作 LOCK を実行します。MENU ボタン以外の操作は無効になります。

2) FUNCTION

動作モードを設定します。

SXGA : SXGA 出力機能が有効となります。

動画転送機能も有効ですが、SXGA 出力機能が優先されるため、動画転送機能のフレームレート（画像の更新間隔）は遅くなります。

NETWORK : LAN インターフェースでの動画転送機能が有効となります。

NETWORK (+ALARM) : 動画転送機能にアラーム/ビデオロス情報を付加します。

SXGA & NETWORK : SXGA 出力機能と LAN インターフェースでの動画転送機能が同時に有効になります。ただし、それぞれのフレームレート（画像の更新間隔）は SXGA 出力機能または動画転送機能のどちらか一方を使用しているときに比べて遅くなります。

SXGA & NETWORK (+ALARM) : SXGA 出力機能と動画転送機能の同時出力にアラーム/ビデオロス情報が付加されます。

3) REMOTE / ALARM

背面に配置してある REMOTE / ALARM インターフェースの制御を設定します。

REMOTE : REMOTE インターフェースにて動作します。

ALARM : ALARM インターフェースにて動作します。

※REMOTE の CH1~16 が ALARM インターフェースとして動作します。

4) NETWORK MODE

ネットワークモードを設定します。

UNICAST (TCP) :ユニキャストモードに設定します。

MULTICAST (UDP) :マルチキャストモードに設定します。

5) FAN

ファンの状態を表示します。

OK : ファンは問題なく動作しています。

NG : ファンに異常があります。

6) SOFTWARE VERSION

内部ソフトウェアのバージョンを表示します。

7) HARDWARE VERSION

内部ハードウェアのバージョンを表示します。

8) OK ボタン

SYSTEM 設定の登録に使用します。

9) REMOTE CONTROLLER

コントロール画面に戻ります。

10) MAIN MENU

MAIN MENU 画面に戻ります。

注意

本リモートコントロールソフトは、通常、起動時に取得した MV-1600 本体のステータスを表示します。

最新のステータスを表示したい場合は、OK ボタンを押してください。現在のステータスを取得、表示します。

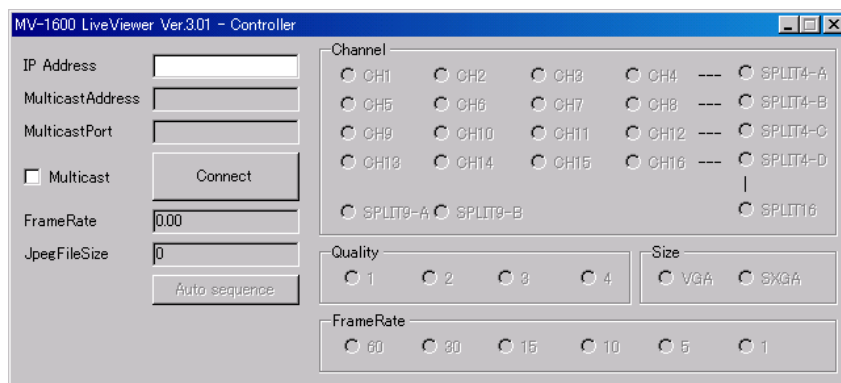
3. MV-1600 Live Viewer を使用した動画転送

3-1. MV-1600 Live Viewer の起動と接続

CD-ROM からコピーした MV1600LiveViewer.exe をダブルクリックしてソフトウェアを起動してください。

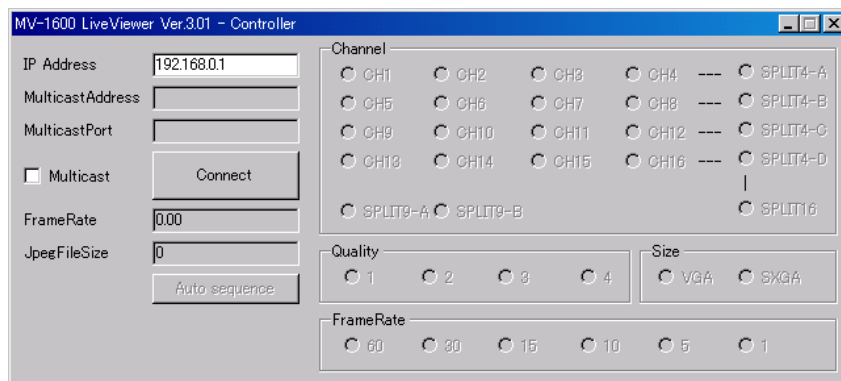


以下のようなコントロール画面が表示されます。



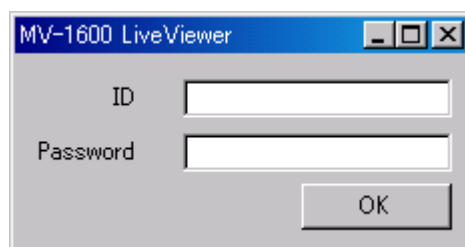
1) ユニキャストモードで接続する場合

IP アドレス欄に接続したい MV-1600 の IP アドレスを入力して **CONNECT** ボタンを押します。

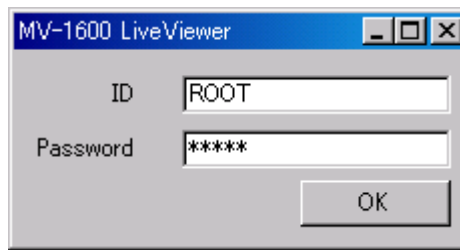


ID が設定されている場合は、以下のような認証画面が表示されます。

※ID が設定されていない場合は、Viewer 画面が表示されます。



ID とパスワードを入力して **OK** ボタンをクリックします。ID、パスワードが一致すると Viewer 画面が表示されます。



注意

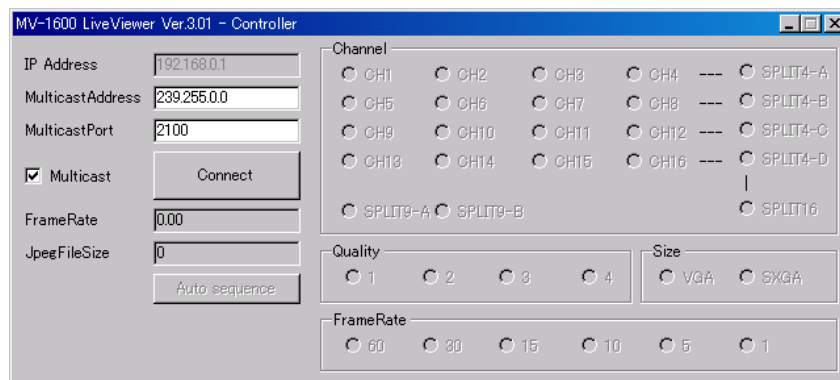
動画転送機能を使用する場合は [SYSTEM]→FUNCTION に関係なく使用できません。詳しくは MV-1600 取扱説明書「5-7. SYSTEM (システム設定)」を参照してください。

MV-1600 Live Viewer を使用する場合は、Internet Explorer の VIEWER 機能は使用できません。

2) マルチキャストモードで接続する場合

「Multicast」にチェックをいれ、マルチキャストアドレスおよびポート欄に接続したい MV-1600 のマルチキャストアドレスおよびポートを入力します。

CONNECT ボタンを押して確立すると Viewer 画面が表示されます。



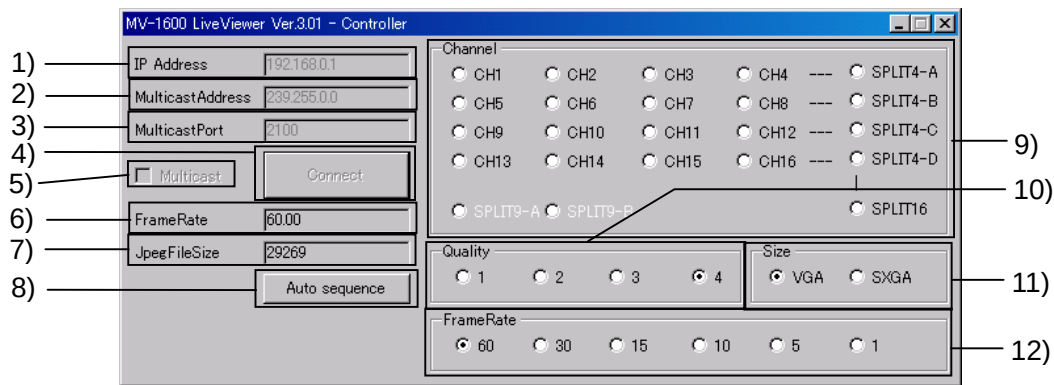
注意

MV-1600 Live Viewer を使用する場合は、Internet Explorer の VIEWER 機能は使用できません。

3-2. MV-1600 Live Viewer の切断と終了

MV-1600 との接続を切断する場合は、Viewer 画面のウィンドウ右上の **×** をクリックしてください。MV1600 Live Viewer を終了する場合はコントロール画面のウィンドウ右上の **×** をクリックしてください。

3-3. MV-1600 Live Viewer コントロール画面



1) IP ADDRESS

現在接続している MV-1600 の IP アドレスを表示します。接続する MV-1600 を変更する場合は、Viewer 画面を閉じて IP アドレスを入力し、再度 **CONNECT** ボタンをクリックしてください。

2) MULTICAST ADDRESS

現在接続している MV-1600 のマルチキャストアドレスを表示します。接続するマルチキャストアドレスを変更する場合は、Viewer 画面を閉じてアドレスを入力し、再度 **CONNECT** ボタンをクリックしてください。

3) MULTICAST PORT

現在接続している MV-1600 のマルチキャストポートを表示します。接続するマルチキャストポートを変更する場合は、Viewer 画面を閉じてポート番号を入力し、再度 **CONNECT** ボタンをクリックしてください。

4) CONNECT

IP ADDRESS に入力された MV-1600 と接続を確立し、Viewer 画面を表示します。

5) MULTICAST

ユニキャストモードおよびマルチキャストモードを切替えます。

チェック無し：ユニキャストモードで接続します。

チェック有り：マルチキャストモードで接続します。

6) FRAME RATE

現在のフレームレートの実測値を表示します。

7) JPEG FILE SIZE

転送されている画像のファイルサイズを表示します。単位は Byte です。

8) AUTO SEQUENCE

1 画面表示、4 分割、9 分割表示の自動切換えを開始します。

注意

9 分割表示の自動切換え選択時、LAN の動画転送画面は 16 分割表示となります。
詳細は、別紙 MV-1600 取扱説明書、「4-3. 1 画面を表示する」、「4-4. 分割画面を表示する」、「4-6. 自動切換え表示」を参照してください。

9) CHANNEL

SXGA 出力、VIDEO 出力 1、2、動画転送の出力画面の操作を行います

注意

SXGA 出力と VIDEO 出力および LAN の動画転送画面は同じチャンネルを表示します。
4 分割画面および 16 分割画面を選択した場合、SXGA 出力と VIDEO 出力および動画転送画面は同じチャンネルを表示しますが、9 分割画面を選択した場合、SXGA 出力は 9 分割表示、VIDEO 出力および動画転送画面は 16 分割表示となります。

10) QUALITY

動画転送する JPEG 画像の圧縮率を 1～4 で選択します。数字の大きい方が高画質となります。

11) SIZE

動画転送する JPEG 画像のサイズを VGA (640×480pixels)、SXGA (1280×960pixels) から選択します。SXGA を選択した場合、転送するデータ量が多くなるため、VGA と比べてフレームレートが遅くなります。

12) FRAME RATE

動画転送のフレームレートを設定します。

NTSC の場合は 1FPS、5FPS、10FPS、15FPS、30FPS、60FPS から選択可能です。

PAL の場合は 1FPS、4FPS、8FPS、12FPS、25FPS、50FPS から選択可能です。

注意

転送する画像、JPEG 圧縮率、接続する PC、ネットワークの環境等により設定したフレームレートを満たさない場合があります。そのような場合は JPEG 圧縮率を変更して転送するデータ量を少なくしてください。

設定したフレームレートを満たさない場合、画像が上下に揺れて見える場合があります。そのような場合は、フレームレートを少なく設定してください。

MV-1600 Live Viewer 画面を開いたまま、本体 MENU 画面や RS-232C/LAN コマンド、または Internet Explorer でカメラタイトル、出力画面、JPEG 画像の圧縮率、フレームレートを変更した場合、MV-1600 Live Viewer 画面上の表示は正しく更新されません。

また、MV-1600 Live Viewer 画面に本体 MENU 画面を表示する場合は、CH1 のフル画面表示に変更してください。

マルチキャストモードで接続した場合、CHANNEL、QUALITY、SIZE、FRAME RATE の設定は変更できません。設定を変える場合には、Internet Explorer の VIWER 画面を使用してください

3-4. MV-1600 Live Viewer-Viewer 画面



- 1) **画像エリア**
MV-1600 から転送されている画像を表示します。
- 2) **TITLE**
現在表示している映像のタイトルを表示します。

注意

MV-1600 Live Viewer 画面を開いたまま、本体 MENU 画面や RS-232C/LAN コマンド、または Internet Explorer でカメラタイトル、出力画面、JPEG 画像の圧縮率、フレームレートを変更した場合、MV-1600 Live Viewer 画面上の表示は正しく更新されません。
[DISPLAY]→TITLE(SXGA)が OFF に設定されている場合、TITLE は表示されません。詳しくは「2-6-5. DISPLAY」を参照してください。

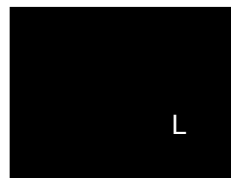
3) **ALARM/LOSS**

アラーム入力チャネルには「A」の文字を表示します。
ビデオロスチャネルは黒画面となり、「L」の文字を表示します。

＜アラーム CH の表示＞



＜ビデオロス CH の表示＞



外部アラームおよびビデオロスを検知した場合、2 種類のアラーム画面表示モードを選択することが出来ます。詳しくは、別紙 MV-1600 取扱説明書、「4-7. アラームおよびビデオロス画面表示」を参照してください。

注意

[DISPLAY]→MARK(SXGA)が OFF に設定されている場合、「A」、「L」の文字は表示されません。詳しくは「2-6-5.DISPLAY」を参照してください。

4. 故障かなと思ったときに

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

注意

下記の項目をすべて確認しても正常に動作しない場合は、製品の電源を OFF にし、再度 ON にしてください。また、PC およびソフトウェアも再起動してください。それでも正常に動作しない場合は、販売代理店へご連絡ください。

現象	確認点	対策
MV-1600 リモートコントロールソフトウェアが起動しない	PC は動作環境を満たしていますか？	動作環境を満たす PC で起動してください。
	他のソフトが起動中ですか？	他のソフトと不具合が発生している可能性があります。他のソフトを終了させ、再度、MV-1600 リモートコントロールソフトウェアを起動してください。
ネットワーク接続された MV-1600 が操作できない	MV-1600 の電源が投入されていますか？	MV-1600 の電源が投入されていることを確認してください。
	ネットワークが正しく接続されていますか？	ネットワークの配線や、ケーブル類が確実に接続されているかを確認してください。
		ケーブルの種類が正しいか確認してください。
	LAN アダプタなどのハードウェアが正常に動作していますか？	デバイスマネージャや診断プログラムなどで、これらのハードウェアが正常に動作しているかを確認してください。
		ドライバ類が正しくインストールされているかを確認してください。
	PC ネットワーク設定が正しく設定されていますか？	TCP/IP プロトコルがインストールされており、IP アドレスなどが正しく設定されているかを確認してください。
	MV-1600 のネットワーク設定が正しく設定されていますか？	MV-1600 のメニューから、IP アドレスなどが正しく設定されているかを確認してください。
ネットワーク接続された MV-1600 の映像が表示できない	IP アドレスが重複していませんか？	ネットワーク上の全ての PC および、MV-1600 の IP アドレスに重複がないか確認してください。
	ネットワークモードの設定が正しくされていますか？	MV-1600 本体と MV-1600LiveViewer のネットワークモードがあっているかを確認してください。

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A[®]
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

24h
365 days

サービスセンター

03-3446-8575

株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関 西 支 店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札 幌 営 業 所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東 北 営 業 所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中 部 ・ 北 陸 営 業 所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中 国 営 業 所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九 州 営 業 所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖 縄 営 業 所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)

その他のお問い合わせは、最寄りの営業所にご連絡ください。